

# 緊急消防援助隊情報

## 消防庁ヘリコプター5号機 高知県消防防災航空隊にて運航開始

### 広域応援室

#### 1. 経緯

消防庁は、消防防災ヘリコプターの広域航空消防応援体制強化を図るため、消防組織法第50条の無償使用制度により、高知県に5機目の消防庁ヘリコプターを配備し、平成26年4月に高知県消防防災航空隊にて運航を開始しました。

消防庁ヘリコプターは、地震等の大規模災害発生時において迅速かつ広域的な情報収集活動を実施し、緊急消防援助隊派遣の判断等をより的確に行うため、消防組織法第50条の規定による無償使用制度を活用し、整備を進めており、これまでに1号機を東京消防庁、2号機を京都市消防局、3号機を埼玉県防災航空隊、4号機を宮城県防災航空隊に配備してきたところです。

今回、運航を開始した5号機は、南海トラフ地震発生の切迫性にかんがみ、中四国地方における早期情報収集体制の確立及び緊急消防援助隊の迅速な応援活動の実施を目的とするものです。



#### 2. 装備等

消防庁ヘリコプター5号機は、気象レーダー、衛星航法装置、衝突防止装置などを装備するほか、デジタル集合計器の搭載により、パイロットのワークロードが大幅に軽減されていることが特徴です。

また、高出力エンジンであることに加え、自動操縦装置（4軸制御）を装備し、より安定したホバリングを可

能とすることも特徴で、高高度で発生した山岳救助にも適した機体とされています。このほかイリジウム衛星電話やヘリコプター動態管理システムも搭載しており、通信機能の強化が図られています。

さらに、飛行中に取得した映像情報をヘリコプターから直接、人工衛星に伝送するヘリサットを搭載しており、大規模災害初期の被災状況把握などの情報収集に関して、従来のヘリコプターテレビ電送システムに比べ、被害状況を地上の受信設備に頼らずに映像伝送することが可能となり、初動対応の向上が期待できます。



#### 3. 諸言・性能等

|      |             |         |
|------|-------------|---------|
| 機体番号 | JA05FD      |         |
| 型式   | アグスタ式 AW139 |         |
| 諸元性能 | 全長          | 16.66m  |
|      | 全幅          | 4.22m   |
|      | 機体全高        | 4.98m   |
|      | 最大全備重量      | 6,800kg |
|      | 最大速度        | 306km/h |

#### 4. 運航

高知県消防防災航空隊は、消防庁ヘリコプター5号機「おとめ」が、平成26年4月1日から新たに運航を開始し、県内2機体制となりました。次ページでは、高知県消防防災航空隊から、新機体による運航体制についてのレポートを紹介します。



高知県消防防災航空隊は操縦・整備を県職員が行う「自主運航方式」により平成8年4月にシコルスキーS76型機の運航を開始しました。それから17年目となる昨年8月に消防組織法第50条の無償使用制度により、消防庁ヘリコプター5号機が配備され2機体制となりました。

4月から、シコルスキーS76型機「りょうま」が耐空検査のため運航を休止し、4月1日から消防庁ヘリコプター5号機アグスタウエストランド式139型JA05FDを「おとめ」と命名して運航を開始しました。



消防庁ヘリコプター5号機にはヘリコプター動態管理システムや撮影した映像を人工衛星経由で伝送するヘリサット等の新しいシステムが装備されています。このため従来からの救助・消火訓練等に加えてこれらの装備を活用できるように訓練を行っています。

高知県は山間部を飛行することが多いため無線の不感地帯が多く訓練飛行や出動中にヘリコプターの状況が把握できない事が従来から課題でしたが、装備されているヘリコプター動態管理システムにより航空隊事務所等で飛行状況の把握と連絡が可能となり運航体制が充実しました。



また、航空機衝突防止装置や機体に数多く取り付けられたカメラの映像を選択して確認しながら飛行できることは色々な状況で安全性が高くなっています。

さらにシコルスキーS76型よりも一回り大きい機体にはほぼ2倍の出力を持つエンジンが搭載されており、

2時間以上の燃料とヘリサットを装備して従来通りの救助訓練飛行が可能です。今後、運航を重ねて不都合な事がなければヘリサットを常時装備して活動を行うことを予定しており、現在までヘリサットは一度も取り外すことなく訓練と出動を行っています。3件出動した林野火災ではヘリサット装備のまま消火バケツを使用して取水量900リットルでの空中消火を行いました。



高知県はインターネットを利用した防災情報システムを構築しており「おとめ」がヘリサットで伝送した映像は県内の市町村や消防機関で各職員のパソコンでリアルタイムに閲覧することが可能です。

これからは緊急消防援助隊としての出動や広域航空消防応援活動が迅速に行えるように他県への出動訓練も重ねていきたいと考えております。

高知県消防防災航空隊 隊長 山崎静夫

**問い合わせ先**

消防庁国民保護・防災部防災課 広域応援室 小泉・原  
TEL: 03-5253-7527